

Campus Today



次代の歯科医療を担う臨床力と志を実感



日本歯科医師会の高橋英登会長（中央）から発表を称えられ本学関係者と喜ぶ岸先生（右から2人目）

2025年度 全国歯科大学・歯学部 若手歯科医師臨床症例発表会

発表会当日は、インプラント、CAD/CAM、デジタル歯科の活用、顎補綴、オーラルフレイル、義歯治療、審美歯科など、現代歯科医療の幅広い分野にわたる症例が報告された。いずれの発表も、患者との信頼関係を基盤に日々の臨床で直面する課題に真摯に向き合い、試行錯誤を重ねながら積み上げられた成果であり、若手歯科医師の高い臨床力と探究心が感じられる内容であった。

岸 英之助手は「前投薬併用 静脈内鎮静法の反復により歯科治療の習慣化と行動変容を認められた自閉スペクトラム症患者の1例」を発表した。障害のある患者に対し、鎮静法を活用しながら段階的に歯科治療への適応を促し、行動変容へと導いた本症例は、患者中心の歯科医療の実践を示す意義深い報告であった。また、徳島大学代表として本学45期生の岩田泰億先生が登場した。

地域連携歯科学講座・岸英之助手が発表

2025年度全国歯科大学・歯学部若手歯科医師臨床症例発表会が3月14日（土）、東京都の日本歯科医師会会館で開催された。日本歯科医師会が、将来の歯科医療を担う若手歯科医師の育成と臨床力の向上を目的として企画、主催したもので、歯科医師免許取得後10年以内の歯科医師が全国の歯学部・歯科大学の代表として臨床症例を発表、本学からは地域連携歯科学講座から岸 英之助手が登壇した。多くの関係者が集まり、日頃の臨床経験や研究成果を共有する機会となった。

厚生労働省は3月16日（月）、第119回歯科医師国家試験の合格者を発表した。本学の新卒受験者62人中50人が合格（80.6%）、新卒合格率は6年間連続90%以上の成績を残すことは出来なかったが、過去7年間の平均合格率は90%を維持することが出来た。今回、合格者数の大幅増加という予想に反して、全体の合格率は昨年度と比較して、8.4%下がり、合格者数も昨年より359人減少し1757人となった。全体の合格率が低下したのは第115回の試験以来であり、過去40年間において最低の合格者数となった。

本学の試験成績についての各種媒体の講評としては「松本歯科大学は、かつて合格率が低迷していた時期もあったが、ここ数年はV字回復を見せており、第119回でもその勢いが維持されている」「24時間利用可能な自習室や外部講師を招いた特別講義が充実しており、大学側の

第119回 歯科医師国家試験結果報告

本学の新卒合格率は80.6%

過去7年間の平均合格率90%を維持

全国から選ばれた若手歯科医師が真摯に症例と向き合い、その成果を共有する姿からは、歯科医療の未来への大きな可能性が感じられた。若手歯科医師のひたむきな姿勢に触れ、私自身も改めて日々の研鑽を重ねていきたいという思いを新たにしたい。今回の発表会は若手歯科医師の成長と歯科医療のさらなる発展を強く感じる機会となった。

（地域連携歯科学講座 教授 今井美恵）

国家試験	新卒合格率%
第119回	80.6
第118回	90.7
第117回	90.2
第116回	93.1
第115回	90.4
第114回	95.4
第113回	89.4

サポートが手厚い」といった教育体制への評価が見られた。今回の国家試験総出願者数は3219人であったが、実際の総受験者数は昨年より202人少ない2837人であった。新卒の未受験者は338人となった。各大学において国家試験受験者は更に厳しく絞られている。合格率は、国公立大学は68.8%（昨年より11.1%低下）、私立大学は58.7%（昨年より8.5%低下）であり、国公立大学における合格率の低下が顕著となった。既卒の合格率は、22年ぶりに30%を下回る27.8%（昨年は44.9%）となり、現役受験での合格の重要性が示された。新卒者の学校別合格率において90%を超えたのは、100%の大阪歯科大学を筆頭に6校にとどまった。今回誕生した新人歯科医師において、女性歯科医師が占める割合は、45.8%と立大学は58.7%（昨年より8.5%低下）であり、国公立大学

3月26日（木）、学校法人松本歯科大学第221回理事会は、新年度の役職教員を承認した。新役職教員を核とし、2026年度も全学を挙げて歯学教育の充実とさらなる本学発展に努めていく。

2026年度の役職教員が決定



なり、約2人に1人が女性歯科医師となっている。第116回歯科医師国家試験から、合格基準は、必修、領域A（総論）（一般問題100題）、領域B（各論）（一般問題80題）と臨床実地問題100題に設定されている。今回の国家試験は、必修問題において難易度が大幅に増した。

本学が礎とする「建学の理念」に基づく信頼される歯科医療人および研究者の育成のためには、歯科医師国家試験の合格は単なる通過点でしかないことは言うまでもない。

今後、教職員と学生が協働して進む歯学部6年間の教育・研究・診療体制の整備・拡充が必須であり、益々の発展を期待したい。

（学長 宇田川信之）

総理の着こなしで、その会談の目的が見えてくる

内閣官房参与
松本歯科大学理事(特命)
特命教授 飯島 勲

今月号では『ブレジデント』4月3日号「リーダーの掟 飯島勲」より、「総理の着こなしでその会談の目的が見えてくる」の記事を要約して紹介します。

総選挙が終わり、報道各社が2月に行った世論調査の結果がまとまってきた。内閣の支持率は6〜7割の範囲で分布しており、1月調査分と比較しても、上昇した社のほうが多かった。ただ、私は「これで安心だ」とはまったく思っていない。それはひとえに、野党が弱すぎる点にある。たとえばTBSの世論調査では、中道改革連合の支持率は4・9%となっており、前回調査から3・9ポイント下落している。野党で支持率を1%以上上げたのは、前回からブラス3ポイントの伸びを見せて4・2%を獲得したチームのみで、軒並み低調といっている。なぜ銀のことが気になるのかというと、肌身離さずに

銀を身に付けているからだ。と、いってもペンダントなどではなく、カフスポタンに加工された江戸時代の「一分銀」をワイシャツにいつも付けている。買ったのはもう何十年も前になるから、どこで買ったのかは思い出せないが、海外の土産物店だったはずだ。こうした遊び心に気付いてくれる人がいるとそこから会話も弾むので、悪くない買い物だったと思っている。

ちなみに、国会にはこうしたアクセサリや時計類についての規定はない。ただし、衆議院規則の第二百三十三条には「議場に入る者は、帽子、外とう、えり巻、かさ、つえの類を着用又は携帯してはならない。但し、病氣その他の理由によって議長

の許可を得たときは、この限りでない。」と記載があるため、帽子やマフラー、傘や杖などは健康上の理由がある場合を除き、議場に持つて入ることができない。

こうして衆議院規則を見てみると、「スーツを着用しなければならぬ」と明文化されたルールはない。だが二百三十一条で「議員は、議院の品位を重んじなければならぬ。」とあるため、スーツでの参加は暗黙のルールといえるだろう。



よく着ている青色のスーツではなく、TPOを考慮して黒っぽいスーツを着用することもある高市首相(右)

り尽くした職人に仕立ててもらった。米軍内では明るすぎる色だと浮ついた印象を与えてしまうから、TPOを考慮して服装を選んだのだろう。岸田元首相とは方向性が違うが、「あなたのことを考えています」というメッセージとしては素晴らしいものだと思える。

思い返すと、安倍晋三元首相も首脳会談や国際会議の場では少し明るめのスーツを選んでいった。よく着ていたのはネイビーブルーのスーツで、派手すぎないが埋もれることもない、絶妙なバランスだったと思う。やはり少しでも日本をアピールしようとして、明るい色を選んでいたのでないか。高市首相も、色でメッセージを発するという点では共通点がある。

私のような裏方はともかく、首相や政治家に限らず人前に出る立場の人は「自分がどう見えるか」という点を考慮してコーディネートしなければならぬ。その点、総理は「常に誰かに見られている」ともいえる。経営者の方は、総理の服装から学ぶことも多いのではないだろうか。

アヘンについて、もう少し勉強してみよう。前回、古代の中国や日本では知られていなかったと話しましたが、5世紀ごろにはアラブ商人がシルクロードを通じて持ち込んだようである。中国の書物に医薬品としての記載が見られます。明代の中国や江戸時代に日本では阿芙蓉として知られるようになりました。そもそもは病の苦痛を免れるための薬だったはずでしたが、上流階級や金満家の中には、快楽を目的として贅沢な吸引具でその陶酔感を楽しむ人々も出てきてしまっただけです。それでもこの時代には、アヘンは貴重で高価な物質でしたが、タバコのように一般民衆の間にも広まることはなかったのです。

第6学年・青木萌音さん 日本小児歯科学会 学部学生優秀賞を受賞



学部学生優秀賞を受賞した青木さん(右)と筆者

公益社団法人・小児歯科学会では、学業および臨床成績が優秀であり、小児歯科学への高い意気込みを持った学部学生対象者に、「日本小児歯科学会 学部学生優秀賞」を選定し、賞状と記念品を贈呈している。本年度は本学から、第6学年の青木萌音さんが、日本小児歯科学会学部学生優秀賞として承認された(3月1日付け)。

青木さんは在学中の学業が優秀で、6カ年間特待生および皆勤であり、特に小児歯科学の成績が極めて優秀であることから推薦された。優秀者はその学業や臨床態度・技能・知識が周囲に認められることになり、受賞を機に今後、小児歯科学分野の臨床や研究に一層邁進することも望まれている。

青木さんは4月より、本学病院における歯科医師臨床研修を行う予定であることから、さらなる活躍に期待したい。

小児歯科学講座 教授 大須賀直人

県シニア大学の受講者を対象に 高齢者の転倒と口腔機能に関する調査実施

高齢者の転倒と咬合に関する研究に取り組んでいる本学の鷹野哲也特任教授と筆者のグループは2月24日(火)、松本市の長野県松本合同庁舎で、県シニア大学松本学部・大北学部の受講者を対象に、研究に関する調査を実施した。



データを収集する鷹野特任教授(右)

当日は、体幹2点3軸加速度センサーを使用して、歩行計測を行い、歩行時の体幹の動きや、歩行周期の変動係数を調査した。歩行周期の変動係数は、歩行リズムの安定性をみる指標の一つであり、転倒との関連が注目されている。

あわせて、立位バランスや立ち上がり動作など、日常生活に関わる身体機能についての評価も行った。

さらに口腔機能の面からは、咬合力、接触咬合面積、残存歯数についても調査し、歩行機能との関連を検討するための基礎資料を収集した。

転倒予防では、一般に下肢筋力やバランス能力が重視されるが、近年は口腔機能と全身機能との関連にも関心が集まっている。高齢者を対象とした先行研究では、残存歯数が少ないことや、義歯を使用していないことが転倒と関連する可能性も報告されており、口腔の状態を全身機能の一面として捉える視点が注目されている。

もともと、咬合と転倒との関係は現時点ではなお基礎的な検討段階にある。筆者らは現在、高齢者と非高齢者の歩容の特徴を比較しながら、将来的に咬合の視点を加えた検討へつなげたいと考えている。

(整形外科 理学療法士 岡崎 暁)

痛みと歯科医療⑥

依存症は、自分の欲求を満たすためには、反社会的な行動も平気で行ってしまう可能性があります。特定の薬物については「麻薬及び向精神薬取締法」で厳しく取り締まられています。

アヘン系の麻薬のみならず、コカインや大麻についても、特別な免許者を除き、使用はもとより所持や栽培が固く禁じられています。

かといって、そばやうどんに風味を添える七色唐辛子にケシやアサの実が生で加えられているものでしたが、現在では加熱が義務付けられていますね。

創立者の「視点」



大学誌編集主幹
特任教授

笠原 浩

と云います。耽溺(たんにやく)なんて言葉もありますね。「脳内に報酬(ごうばう)を求める回路ができあがり、コントロール喪失に陥った状態」のことである「脳の病気」です。お酒(アルコール)やタバコでも起こり得ますが、とりわけアヘン系の薬物には、ヒトに快感をもたらす生理物質である脳内麻薬のエンドルフィンとよく似た作用があるため、強い依存症になりやすいとされています。

薬物ばかりでなく、ギャンブルやテレビゲームといった特定の行動でもはまり込んでしまう人がいます。熱烈な恋愛で夢中になっている最中も同じようなものかも知れませんね。

依存症では、自分の欲求のために周囲が見えなくなり、精神的に荒廃するばかりではありません。身体的にも依存するようになり、中断すると苦しい禁断症状が出現します。

あなたを誘惑する嗜好品や遊びなどについても、依存症になることも、依存症になることがないように、常に社会人としての意志を堅持して生きていきたいものだと思います。

依存症は、自分の欲求を満たすためには、反社会的な行動も平気で行ってしまう可能性があります。特定の薬物については「麻薬及び向精神薬取締法」で厳しく取り締まられています。

アヘン系の麻薬のみならず、コカインや大麻についても、特別な免許者を除き、使用はもとより所持や栽培が固く禁じられています。

かといって、そばやうどんに風味を添える七色唐辛子にケシやアサの実が生で加えられているものでしたが、現在では加熱が義務付けられていますね。

評議員会および理事会報告

産学官連携、社会貢献・地域連携に積極的に取り組む

本校創立30年記念棟3階会議室で3月26日(木)、学校法人松本歯科大学の第156回評議員会が開かれ、中期計画、2026年度事業計画などの諮問案件を審議し承認された。続いて第221回理事会が開かれ、中期計画、2026年度事業計画、2026年度予算(案)など各案件を審議し、全会一致で可決、承認された。



第221回理事会の様相

1. 歯学部

松本歯科大学歯学部は、1972年4月1日に開設し、本年度で55年目を迎える。歯学部は、建学の理念を具現化し人間教育全体を教育目標とし、人間としての倫理に基づき先ず「良き歯科医師となる前に良き人間たれ」という教育方針をモットーとし、学生が将来歯科医師として社会に貢献し、歯科医学の発展に寄与することができる人材の育成を目指している。

3. 衛生学院

松本歯科大学衛生学院は、1976年4月に開校した。2010年4月より、2年制から3年制へ移行し、開校以来本年度で50年目を迎える。衛生学院は、必要知識と技術を教授するとともに、豊かな人格を養い、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的としている。

II 病院・診療

型研究者・歯科医療職業人を養成することを目的としている。教育においては、「研究型大学院」を掲げて、先端歯科医療の研究と技術開発が融合した研究拠点の形成と、歯科医学分野における総合的な人材を育成している。研究においては、国内外の多数の研究機関や企業と連携し、共同研究を進め、世界に通用する最先端の研究に取り組んでいる。

材の確保
⑥ 歯科理工学設置に係る申請および届出

① 質の高い医療の提供
最新医療の導入および医療接遇の向上による患者サビスの向上
② 人材の育成
地域医療および本学を支える医師、歯科医師、パラメディカルスタッフの育成
③ 医療収益の向上
経費率意識の徹底と診療の効率化

④ 病診連携および病病連携の強化
地域医療を支える歯科大病院の特性を生かした質の高い医療の提供および県内の病院・診療所との連携の強化
⑤ 歯科医科連携の充実
健康寿命の延伸に向けた疾病予防・重症化予防および各科の患者情報の共有
⑥ 地域連携の推進
⑦ 外来診療体制の円滑化
各科の外来診療体制を見直し、初診室(総合診療科・総合診療科)を基軸とした患者本位の外来診療体制の構築を目指す

III 管理・運営

今日、人口の高齢化が進行するなかで、老後のQOLを支える柱として、歯と口の健康の意義があらためて認識されるようになってきた。口腔健康管理の担い手として、その活動分野はますます広がりを増している。チーム医療の推進が強調されるなかで、歯科医師をはじめとする多くの職種と協働して専門性を発揮できる質の高い歯科衛生士を送り出せるように、教育内容の一層の充実を図っている。

① 社会のニーズを踏まえた実践的な歯科衛生士の育成
② 授業内容の改善
③ 効果的・効率的なカリキュラムの検討、改善
④ 新卒者の歯科衛生士国家試験の全員合格
⑤ 入学定員の確保と優秀な人材の確保

① 科学的研究費補助金などの公的研究費や共同研究費などの外部資金を活用した研究環境の整備に努める。
② 研究倫理に関わる各規程に基づき設置されている委員会により、各研究課題について厳正に審査し、適正な研究活動の励行に努める。
③ 本学の基礎、臨床分野の研究者を養成するため2025年度に科研費リトライ研究費を「若手人材育成費」に改めた。研究費の少ない若手研究者を中心に研究費を補助し研究への取り組みを推奨する。
④ 自己点検・評価
2022年度に受審した日本高等教育評価機構の機関別認証評価の評価結果を踏まえ、学長が中心となり自己点検・評価委員会により評価結果に基づき必要な改善を推進する。
⑤ 知的財産の管理
知的財産の管理(調査、出願、審査請求、拒絶対応、年費管理、放棄、実施許諾等)の適切なライセンス活動に努める。
⑥ 安全衛生
年間安全衛生計画に基づく安全衛生活動を実施する。

2026年度予算

2026年4月1日～2027年3月31日

(単位:円)

Table with 4 columns: 収入の部 (科目, 予算金額), 支出の部 (科目, 予算金額). Rows include items like 学生生徒等納付金収入, 人件費支出, etc.



症例報告する臨床研修歯科医

冒頭、樋口大輔病院長より、症例報告会の各研修歯科医の報告は、歯科医師としての一歩を記すものであり、研修歯科医同士で研鑽を深めてほしいと期待を述べていただいた。その後、症例報告会の進行における諸注意を経て、40人の研修歯科医が、

報告会の前日までの、診療指導、事前抄録の作成・提出、発表スライド作成や予演会など、各管理診療科や協力型施設の指導歯科医の先生方のきめ細かいご指導にあらためて御礼申し上げます。この後、研修歯科医は、発表内容について、症例報告集にまとめることを予定しています。また研修歯科医は研修修了判定に向けて、約1カ月の研修を修了致しました。

1年近くの臨床成果を15分間の時間枠の中で、詳細に分析・報告し、それに対して聴講した研修歯科医からも活発な質問や討議が行われた。

研修歯科医の症例報告では、協力型施設における診療内容の報告もあり、症例内容も、管理診療科8つの特徴である、保存(歯内、歯周、修復、補綴、口腔外科、地域連携歯科、小児歯科、さらに1口腔単位の総合歯科症例など幅広い内容の報告がされた。

40人の症例報告に活発な質問・討議

2025年度病院臨床研修歯科医症例報告会

2月26日(木)・27日(金)の両日、本学図書館学生ホールにて、2025年度臨床研修歯科医の症例報告会が終日開催された。本年度は40人の研修歯科医が本学病院で研修しており(単独型33人、協力型7人)、1日20人ずつ、研修管理委員会員ならびに管理診療科の指導歯科医の先生方の座長進行の下、報告が行われた。

第38回松濤祭 4月29日に開催

運営、地元で人気のキッチンカーの出店など、にぎやかに展開する。松濤祭実行委員長で第2学年の門司拓磨君は「みんな力を合わせて盛り上げていきたい」と多くの人の来場を呼び掛けている。イベントの詳細は、松濤祭実行委員会の公式インスタグラムで随時公開していく。



【初診室】総合診療科 総合診療科 院長 音真 淳一



滋賀県支部 学術講演会を開催 歯科矯正学講座・影山 徹教授が講演 「矯正歯科治療における歯科矯正用アンカースクリューの適応」



影山教授(中央)を囲む滋賀県支部のメンバー

2月21日(土)、令和7年度滋賀県支部学術講演会が草津市市民総合交流センター「キラリエ草津」にて開催されました。

影山先生は、本学の近況報告等をした後、講演に入られました。講演では、歯科矯正用アンカースクリューを使用することによる、抜歯や外科手術を回避できるケースもあり、患者の精神的負担軽減に配慮しつつ、質の高い治療につなげていると話されていました。

このアンカースクリューは、骨に固定されるため非常に安定した支点となり、口腔内だけで狙った歯だけを効率的に動かすことができます。

式で、矢ヶ崎 雅理事長は、卒業生を祝福するとともに、国家間の争いが一段と激しさを増す世界情勢を踏まえ、創立者・矢ヶ崎 康先生の戦争体験を伝えながら平和の大切さを訴えました。その上で「一番大事なことは何が正しく何が正しくないか

を考えると、卒業生は一人一人名前を呼ばれて前へ進み、金銅学院長から卒業証書を受け取った。卒業生を代表して、池野香純さんが「私たちは歯科衛生士として新しい一歩を踏み出します。本学院での学びを思い出し、目標をもって一層努力します」とこれまでの指導に感謝し、決意を述べた。

このあと、卒業生は一人一人名前を呼ばれて前へ進み、金銅学院長から卒業証書を受け取った。卒業生を代表して、池野香純さんが「私たちは歯科衛生士として新しい一歩を踏み出します。本学院での学びを思い出し、目標をもって一層努力します」とこれまでの指導に感謝し、決意を述べた。

人事異動 3月8日付 西澤 恵美 歯科衛生士(約勤職員) 3月9日付 西澤 恵美 歯科衛生士(約勤職員)

香川県支部 7期生・中井護前支部長を偲ぶ

前支部長の中井 護先生(7期生)が1月28日(水)、お亡くなりになりました。享年80歳。私がお会いしたのは、2025年8月23日(土)の支部の納涼会が最後となってしまいました。ご出席くださった中井先生は普段と何もお変わりがなく、皆と楽しくお話をされ、その様子を自ら昨年発行のCampus Today No. 501に発表され、変わりゆく大学と後輩にエールを贈ると共に、優しく慈愛に満ちた言葉を届けておられました。中井先生は自伝を著して、

ここには慶應義塾大学での思い出、松本歯科大学での思い出、開業後の思い出、趣味の話がまとめられていました。本学学生時代のエピソードとしては、奥様の、地元から遠く離れた信州の地での出産に中井先生が付き添われた話があります。当時の補綴工の実習は一度でも休むと単位を落とすとのお話がありましたが、出産に付き添う事になり、その理由を橋本京一教授に報告したそうです。若いインストラクターは茶化したそうですが、橋本教授は新しい家族のための欠

席を許してくれたそうです。中井先生は、支部の記念会誌にもご寄稿され、ドストエフスキーや永井荷風、三島由紀夫など、誰もが知る作家の小説にある歯の描写を紹介しておられました。また、「枕草子」や「源氏物語」にまで歯の記述があることも記され、拝読し、たいへん驚いたことを覚えています。支部長に就任した私の早々の仕事がお世話になった先輩、中井先生への追悼文とは何とも言葉になりませんが、中井先生が天国で奥様と再会している事を願い、あらためてご冥福をお祈り致します。

3月7日(土)、岡谷市の岡谷カノラホールにて、「口腔衛生推進研修会市民公開講座」(岡谷下諏訪歯科医師会など主催)が開催された。本学歯科保存学講座(歯周)の吉成伸夫教授が講師として招かれ、「歯周病に気をつけて健康長寿に」をテーマに講演。岡谷市の早出一真市長をはじめ、地域住民や医療関係者を含む約1500人が、口腔衛生の重要性について学んだ。

吉成教授は、歯周病の病因や治療法、さらには全身の健康への影響について詳しく解説した。特に、歯周病が糖尿病や心臓血管疾患といった全身疾患と密接に関連していることを強調し、歯周病の予防と定期的な管理が健康長寿にどのように寄与するかを明らかにした。また、歯周病の進行によって引き起こされるリスクや、早期発見の重要性についても言及し、日常生活で実践できるお口の清掃ポイントを紹介。最近評価が高まっている電動ブラシの具体的な使用方法や、ブラッシングのタイミング、力加減などについても解説し、関心を集めていた。

吉成教授は15年前にも「歯周病と全身の健康との関わり合い」というテーマで同地区にて会顧問の山田一尋先生による献杯のご発声で会食を進めながら笠原 浩特任教授、鷹股哲也特任教授、同門会名誉会員の堀内敦彦先生、出席した出口門下生全員の先生からのスピーチがありました。歯科矯正学講座の川原良美教授は、出口先生の業績や経歴、写真をまとめた動画も放映しました。出口先生は臨床に厳しく、常に研究、論文で結果を出し続け、常に世界を視野に入れながら飛び回り、日本矯正歯科学会の国際化や、本学ロンドン診療所の開設等々多岐にわたるスーパードクターでした。在局当時、医局員にはとても怖い存在でしたが、皆さんから数々のエピソードを伺い尊敬の

4月行事予定 9日(木) 入学式(歯学部・大学院・衛生学院) オリエンテーション(大学院) 10日(金) オリエンテーション(第2・3学年) 健康診断(第1・6学年) 10日(金)~14日(火) オリエンテーション(歯学部第1学年) 15日(水) 献血 22日(水) 発表会(大学院) 29日(水) 第38回松濤祭 一日体験入学(衛生学院)

吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

歯科矯正学講座元教授 出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

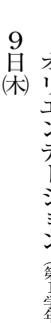
人事異動



吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

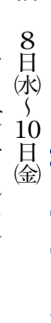
人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

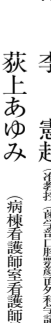
人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

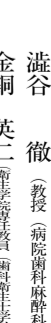
人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

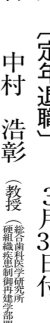
人事異動



吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

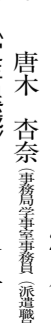
人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

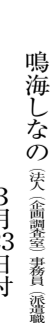
人事異動



吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



吉成伸夫教授が講演 「歯周病に気をつけて健康長寿に」 岡谷市・口腔衛生推進研修会

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動



目標をもつてさらなる高みをめざす 歯科衛生士学科第48期生 衛生学院卒業式

出口敏雄先生を 偲ぶ会が開催

人事異動

